

咽喉頭腫瘍に対する手術を受けた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

研究課題名： 咽喉頭腫瘍術後狭窄を生じるリスク因子の検討

研究の目的

本研究では咽喉頭腫瘍に対し外科手術を受けた患者を対象として、術後の狭窄（狭くなって食物などの通りが悪くなる状態）が生じるリスク因子を明らかにすることを目的とします。

術後に食事のつかえ感を生じ、内視鏡を使用したバルーン拡張術（風船を膨らませ、狭窄部を広げる治療）を要する患者さんがおります。その原因についての報告はいくつかありますが、原因について分かっていないことも多いのが現状です。

そこで、咽喉頭腫瘍に対し外科手術を受けた患者さんの情報を集め、術後の狭窄を生じる要因を検討します。

研究実施期間： 実施許可日 ～ 2030年 3月 31日

対象となる方： 2014年1月から2029年12月31日までの期間に弘前大学医学部附属病院で咽喉頭腫瘍に対し外科手術を受けた患者さん

利用させていただきたい試料・情報について

（他機関に提供する場合、提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む）

2014年1月から2029年12月までに当院耳鼻咽喉科で咽喉頭腫瘍に対する外科手術を受けた患者さんの情報をカルテから得ます。

当院のカルテに記録されている情報のうち、年齢、性別、基礎疾患、内服薬、血液検査結果、狭窄を生じた患者さんでは手術から狭窄を生じるまでの期間、内視鏡的バルーン拡張術の手技および施行回数等について、標記研究課題実施のために利用します。

狭窄を生じた患者さんの群と、狭窄を生じなかった患者さんの群において上記内容を比較します。

なお、氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、個人を特定できない形式にして上記データを使用します。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん／その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承ください。

本件連絡先	附属病院消化器内科、血液内科、免疫内科 立田哲也 連絡先電話番号 0172-33-5111
--------------	--